

政務活動報告書

活動事項	鳥取空港の「空の駅」化をすすめる議員研究会
活動年月日	平成29年5月31日～6月1日
場所	山形県庁、山形空港事務所
活動の相手方	山形県総合交通政策課課長補佐、インバウンド国際交流推進課課長補佐 山形空港事務所所長、山形空港ビル株式会社専務
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 「おいしい山形空港」のインバウンド対策と空港の魅力づくりの視察</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北他県と広域的に、県内民間と責任分担して協議会を運営している。 ・インバウンドでは、唯一台湾は団体客が多い。観光スポットを蔵王・樹氷に定め、台湾現地でCMを大々的にうっている。 ・山形空港は2000m滑走路だが、除雪に問題はなく、欠航は少ない。 ・乗客以外の子供連れ家族も施設内で楽しめる。 <p>【結果（成果）等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他県と協力してPR活動をする。 ・民間を取り込み、責任分担をハッキリさせて活動する。 ・核となる観光スポットを定め、集中的に宣伝する。 ・鳥取空港ビル施設の改修に際しては、乗客以外の来場者も楽しめる工夫をする。
関連領収書番号	46-1～5、47-1, 2

政務活動報告書

活動事項	広島県立美術館視察 米子自動車道の要望活動
活動年月日	平成29年7月3日～7月5日
場 所	広島県立美術館、国土交通省、衆・参議員会館、 NEXCO 西日本、国土交通省中国整備局
活動の相手方	広島県担当部局職員、美術館管理会社社員 小橋 NEXCO 中国支社長、中国整備局長、道路局長、大野政務官
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入場者数が年々増える広島県立美術館の取り組みを鳥取県立美術館にどう生かせるか。 2. 米子自動車道の付加車線及び4車線化の早期着手について要望。 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広島県立美術館の建設、維持管理、運営と現状及びどんな方法で入館者の増加がなされているかを訊く。 2. 米子自動車道の付加車線及び4車線化の早期着手について要望を各関係者に訴えた。 <p>【結果（成果）等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広島県立美術館は、旧広島藩主浅野家の敷地にあり、浅野家由来の美術品も多数ある。管理運営は(株)イズミテクノが行い、企画は県が行う。入場料と駐車場、喫茶、レストラン、ミュージアムショップ、隣接の縮景園の入場料でまかなっていて、県の委託料は年間3億円で、去年は1.7億円の赤字で、これは県が補填とのこと。この方法や数字を検討して本県も計画を練ること。 2. NEXCO、国交省ともに問題点は認識しているとのこと。付加車線を順次整備することで、結果的に4車線化となる工事を進めたいとのこと。
関連領収書番号	66、262

政 務 活 動 報 告 書

活 動 事 項	林活地方議連全国連絡会議平成29年度定時総会陳情活動
活 動 年 月 日	平成29年7月11日
場 所	東京 東海大学交友館 35F、林野庁、衆・参議員会館
活動の相手方	舞立, 青木参議院議員、石破, 赤沢衆議院議員
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 森林・林業・林産業活性化</p> <p>【内容】 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟メンバーによる林活地方議連全国連絡会議定時総会への参加と、地元選出国會議員への要望書提出及び意見交換。</p> <p>【結果（成果）等】 各国会議員から、しっかり早急に取り組むとの回答を得た。 沖林野庁長官は、鳥取県に赴任したことがある技官出身の長官で、鳥取県を取り巻く状況を良く知っており、今後の見通しも明かり印象を受けた。</p>
関連領収書番号	76, 77, 78, 79, 139

政務活動報告書

活動事項	沖合養殖システム、鮮魚加工工場、閉鎖循環養殖システム視察
活動年月日	平成29年8月31日～9月1日
場所	三重県尾鷲市・愛知県田原市
活動の相手方	新日鉄 松原養殖システム事業推進部長、 尾鷲物産 小野社長、林養魚 林慎平会長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 沖合養殖システム、鮮魚加工工場、閉鎖循環養殖システムの視察</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大9mの波に対応する不沈式生け簀の視察 ・年間105万匹の加工を実現する工場ラインの視察 機械はドイツ製で、水道水は5℃に冷却。 ブリは高知大と共同開発でDHAブリ。 養殖業の人材確保は容易だが(大卒は10人程度)、 加工業は人手不足で、外国人も受け入れる。 ・閉鎖循環養殖システムは、RAS(ノルウェーのシステム)を使い、 投薬は一切なし。室内なのでカワウ被害もなく、地下海水のため 通年適した温度である。 <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境港で行った給餌システムと浮沈式生け簀での養殖が成功すれば、今まで養殖不適とされた海域でも養殖が可能となる。 ・尾鷲物産は、現在鳥取県で操業している林養魚場と取引があり、 2000t/年である加工残渣のうち400tは利用しているとのこと。残りは境港の錦海化成が処理しているとのこと。 ・田原市での閉鎖循環養殖システムは、本件でも林養魚場が琴浦町で取り組んでいる。琴浦町の施設では、銀鮭の卵を孵化させ、境港水産等へ配給しており、本県の本格的養殖の先駆けとなって欲しい。
関連領収書番号	102, 103, 104, 105

政務活動報告書

活動事項	(株)林養魚場視察 第11回全国和牛能力共進会視察
活動年月日	平成29年9月8日～9月10日
場所	宮城夢メッセみやぎ、福島西白河郡他
活動の相手方	林養魚場 林会長他 全国和牛能力共進会関係者
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 陸上循環ろ過養殖システム及び、関連施設の視察 2. 全共視察と本件出品者激励会参加・ <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界最先端の陸上循環濾過養殖を確立し、1000 t/年のサーモンを養殖し、観光釣堀、レストラン等を運営する淡水魚日本トップ企業の経営方針を聞き、意見交換した。 2. 好成績となった大会だった。谷口全農会長、赤沢議員、平井知事、福岡副議長、松本北栄町長が激励の言葉を述べ、宮崎選手団長が謝辞を述べた。 <p>【結果（成果）等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鳥取県の誘致企業である林養魚場の理解が深まった。 2. 大会視察を通して、和牛王国復活の手ごたえを感じた。
関連領収書番号	109～115, 119～121、136

政務活動報告書

活動事項	これからの医療とまちづくりシンポジウム参加
活動年月日	平成29年9月16日
場 所	愛知県産業労働センター ウィンクあいち
活動の相手方	一般社団法人MOAインターナショナル関係者等
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 統合医療の地方での実情の知識を深める。</p> <p>【内容】 地方自治体における統合医療の実情と今後の課題</p> <p>【結果（成果）等】 静岡県掛川市 松井市長、鳥取県南部町坂本前町長等の講演を聞いて、健康寿命を延ばす効果があることを理解した。 本県南部町ですでに導入されているが、本件全域での導入を検討すべきと感じた。</p>
関連領収書番号	125, 126, 127, 128

政務活動報告書

活動事項	情報管理の取り組みについて（総務省）
活動年月日	平成30年2月6日
場 所	永田町合同庁舎（総務省）
活動の相手方	総務省情報公開・個人情報保護審査会会長 岡田雄一氏
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 情報管理について伺う。</p> <p>【内容】 日々巧妙化する電子機器へのサイバー攻撃に関し、国としての対処法の説明を受ける。</p> <p>【結果（成果）等】 国としての取り組みは、危機管理上詳しく述べられないが、個人情報保護法施行以来、情報が漏洩し悪用されないよう随時管理しているとのこと。 国のセキュリティー体制は、それぞれの省庁でシステムが異なるため、一括してすべて管理しているわけではないとのこと。 情報漏洩を未然に防ぐためには、強固なセキュリティーシステムを構築し、万が一システムに侵入された場合であっても、早期に発見し、対応することが重要であるとのこと。 県のセキュリティーに関しても、早期に調査する必要があると感じる。</p>
関連領収書番号	202～208

政務活動報告書

活動事項	平成30年北方領土返還要求全国大会参加
活動年月日	平成30年2月7日
場 所	東京 国立劇場
活動の相手方	北方領土返還要求大会実行委員会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 わが国固有の領土である北方4島の返還実現を目指して同大会に参加し、現状を把握し、元島民の方々の声を聞き、北方領土問題について認識を深める。</p> <p>【内容】 (第1部) NHK解説委員、北方領土隣接地代表者、元島民関係者、運動関係者から現状の取り組みや、今後の方向性の発表を聞いた。 (第2部) 照屋大会実行委員長、安部総理の挨拶と、各界各層代表者の発表と、河野外相、江崎北方担当相の見解と今後の対応を聞いた。</p> <p>【結果（成果）等】 1956年の日ソ共同宣言以来7度に亘る声明や宣言、同意があったが、一向に問題解決に至っていない。 4島には、ロシア人が住んでいる現実がある以上、問題解決は非常に難しいと思うが、北方4島領土問題が時代とともに風化しないよう自分自身も常に他の領土問題と合わせ行動しなければならないと感じた。</p>
関連領収書番号	202～208

政務活動報告書

活動事項	林活議連県外視察
活動年月日	平成30年3月27日～3月29日
場 所	和歌山県森林組合連合会御坊共販所、きのくに中津荘 和歌山県林業試験場、三重県伊勢庁舎
活動の相手方	森林組合職員、カーボンフリープロダクツ社員、きのくに中津荘職員 林業試験場職員、三重県庁職員
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 木質パウダー製造及びパウダー燃料ボイラーの視察 木材乾燥及び造林事業の視察 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 製造現場、ボイラー施設の視察と説明を受ける。 太陽熱木材乾燥と低コスト(低密度植栽)造林事業の説明を受ける。 <p>【結果(成果)等】</p> <ol style="list-style-type: none"> パウダー製造は、米粉パウダー製造と同じ原理で液体化石燃料と同じ使用が出来、温度管理に適するが、現在は既存の温泉施設ボイラーにのみ使用。将来は、農業ハウスのボイラーに汎用型を製造し、パウダー使用を目指す。現在パウダー運搬にはクレーン付き4t車で運搬し、ボイラータンクにクレーン等を使って入れているが、ハウスの場合、農道の整備など必要となり問題多し。パウダー製造ラインは1億円未満でできるが、製造機にしても、ボイラーにしても、100%又は50%の国の補助有りで行っており、今後もあるかどうかは不明。本県では、バイオマス発電のチップを県で100%まかなえない現状では、実施は難しい。 太陽熱木材乾燥は、ビニールハウスを使った乾燥で、ビニールの2重化、除湿器、フォークリフトが出入り可能な搬入口の設置等が必要で、自然乾燥よりは効果があり、和歌山あたりでは受注から納品まで4日～2週間であるが、本県では40日かかることから、本県導入は難しい。 三重では、並材量産のため低密度植栽による低コスト造林を進めているが、高級材を目指す地域では従来の密植を行っているとのこと。三重県職員から低コストの計算を聞いたが、同行していた林業専門の議員から疑問の声多し。これも、本県では導入は難しい。
関連領収書番号	253, 254, 260